

本学の LGBT に関する取組が、任意団体 work with Pride が策定した「PRIDE 指標 2017」において大学初の「GOLD」を受賞し、さらにベストプラクティス(5社)に選出

<概要>

平成29年10月11日(水)午後、経団連会館で開催された「work with Pride2017」にて、本学の LGBT に関する取組が、「PRIDE 指標 2017」において大学初の GOLD を受賞し、さらに5社のみとなるベストプラクティスに選出されました。

○PRIDE 指標について

任意団体 work with Pride(以下、wwP)により策定された、2016年に日本で初めてとなる、企業・団体等における LGBT などの性的マイノリティ(以下、LGBT)に関する取組みの評価指標。

LGBT の人々が誇りを持って働ける職場の実現を目指して指標の名称を「PRIDE 指標」とし、「企業・団体等の枠組みを超えて LGBT が働きやすい職場づくりを日本で実現する」ために、以下の5つの領域において取組を評価する。

- ・Policy (行動宣言)
- ・Representation (当事者コミュニティ)
- ・Inspiration (啓発活動)
- ・Development (人事制度・プログラム)
- ・Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)

○本学のゴールド受賞について

上記5つの指標について、各指標内で2項目以上の要件を満たし1点が付与される。筑波大学の取組は、この5つ全ての指標を満たし5点満点となったため、GOLDを受賞した。

○ベストプラクティス選出について

本学の取組は特に P(Policy: 行動宣言)においてベストプラクティス(ゴールド受賞企業のうち5つの指標それぞれにおいて1社のみ、合計5社が選出)として選出された。

これは平成29年3月に策定・公表した「LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」について「大学の方針を明文化しインターネットで公開していること、方針の対象者は学生教職員を問わず全構成員としていて、大学から見た顧客である学生に対する方針も明示されていること」が高く評価されたことによる。

本学は、建学の理念である「開かれた大学」を掲げ、様々な属性を持った多様な人材の活躍こそがイノベーションの創出の源泉であると強く認識しており、今後も引き続き LGBT を含むダイバーシティ推進に取り組んでいきます。

<参考情報> ※ work with Pride ホームページ(<http://www.workwithpride.jp/>)より抜粋

work with Pride(wwP) について

企業などの団体において、LGBT、すなわちレズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーなどの性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体です。2012年に日本アイ・ピー・エム株式会社が、国際NGO ヒューマン・ライツ・ウォッチと共同で日本でのLGBT従業員支援に関するセミナーを企画したことから始まりました。後に、LGBT当事者が中心になって活動している認定特定非営利活動法人であるグッド・エイジング・エールズと特定非営利活動法人虹色ダイバーシティが加わりました。

work with Pride の目的

work with Pride の目的は、日本の企業内で「LGBT」の人々が自分らしく働ける職場づくりを進めるための情報を提供し、各企業が積極的に取り組むきっかけを提供することです。

この目的を達成するために、work with Pride では年に一回協力企業に場所をお借りし、企業の人事・人権・ダイバーシティ担当者を主な対象に、LGBTに関するセミナーを開催しています。



Work with Pride ゴールド表彰マーク

<参考リンク>

Work with Pride(<http://www.workwithpride.jp/>)

「work with Pride 2017」(メインセッション)の開催について

(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000011.000019571.html>)

PRIDE 指標 2017 の結果レポート(<http://www.workwithpride.jp/pride/report2017.pdf>)

<本件に関する問い合わせ先>

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター ダイバーシティ部門

電話: 029-853-8504

E-mail: diversity@un.tsukuba.ac.jp